

総合療育センター加圧給水ポンプ更新工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
M-01	表紙、図面リスト	—
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	—
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	—
M-04	配置図、付近見取図	1/800
M-05	給水設備 改修後 系統図、機器リスト、凡例	—
M-06	給水設備 改修後 平面・断面詳細図	1/50
M-07	給水設備 撤去 平面・断面詳細図	1/50
M-08	動力 計装設備 撤去 改修後 平面詳細図	1/50



工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	年月	図番	頁
総合療育センター加圧給水ポンプ更新工事	表紙、図面リスト	/ / /	赤井	神原	神原	細木		2024.01	M-01	01 / 08 全

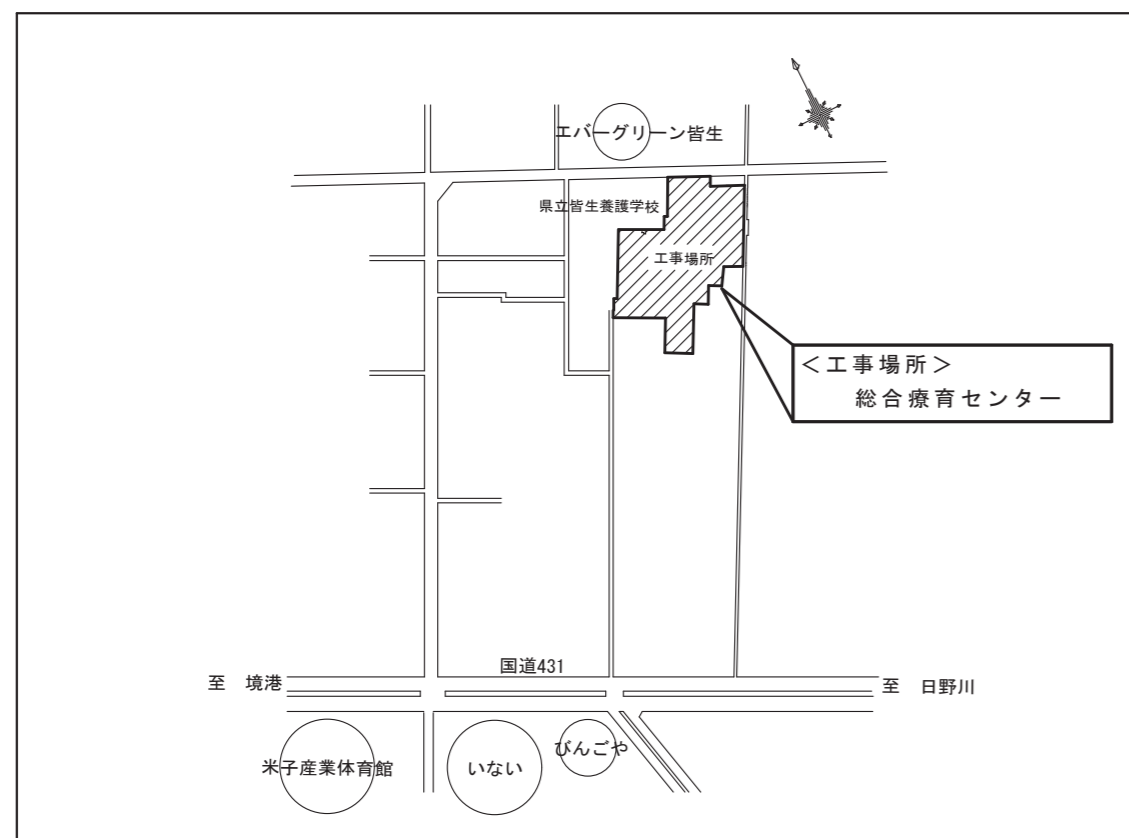
TBM 株式会社 ティビィエム (ティビィエム環境設備設計事務所)
鳥取県米子市目久美町34番地2
鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所
管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優

一般共通事項	<p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設 ● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート</p> <p>● 標準図（施工3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン</p> <p>※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）</p> <p>※ ペローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種材料のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠へいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）</p> <p>呼び径60S以下での継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <p>● ガス配管 ● 冷水配水管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ）</p> <p>抜 取 率（ ● 標準仕様書による ● % ）</p> <p>● 地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质（ ● 一般飲料水適合格査 ● 残留塩素測定 ）</p> <p>● その他水质等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同じ仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 （測定時期： 測定場所： 測定点： ）</p> <p>● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所（ 2階廊下 ）</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ 洋風便器 ）</p> <p>● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）</p> <p>● その他（ ）</p> <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計用標準水平震度</th> <th colspan="2">◎ 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>● 重要機器</th> <th>◎ 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上 層 階 屋上、塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中 間 階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <p>● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む）</p> <p>●（ ）</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							設計用標準水平震度	◎ 特定の施設		● 一般の施設		● 重要機器	◎ 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	<p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 季</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気還水管</p> <p>7 油・油通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサーピスタック</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>4 1 ダクト</p> <p>2 排煙口</p> <p>3 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>5 1 中央監視制御盤装置</p> <p>2 電源装置</p> <p>3 温度調節器等</p> <p>4 計装工事の記録</p>		外気条件		室内（調整目標値）						一 般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏 季		℃	%	28.0	℃	%	℃	%	冬 季		℃	%	19.0	℃	%	℃	%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 季</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ SGP（白） ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP（白） ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリプテン管（ファンコイル機器接続部に限る）</p> <p>※ SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>※ SGP（黒）</p> <p>※ STPG370-Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <p>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●</p> <p>※ SGP（白） ● VP</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。</p> <p>(ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式</p> <p>(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <p>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</p> <p>● 長方形ダクト ● コーナボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ） （長さ1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）</p> <p>● アングルフランジ工法</p> <p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 垂鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。</p> <p>形式はビートル管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <p>● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● ユニット形空調機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● メカニカル形 ● 風速センサー形</p> <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400（※ 3.2mm ● 4.5mm） ● SUS（※ 1.5mm ● 2.0mm）</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付け座を付ける</p> <p>煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式（側圧計）とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図（施工32）（二重設タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工33）（タンク室有り）</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <p>● 機器表特記による。</p> <p>● 空調機和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。</p> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <p>※ 垂鉛鉄板製 ● 鋼板製（厚1.6mm）</p> <p>形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形</p> <p>取付け ● 天井取付 ● 壁取付</p> <p>電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要）</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。</p> <p>● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し</p> <p>● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要</p> <p>取付け高さ ※ 1300mm ● mm</p> <p>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</p> <p>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブ配線とする。</p>		外気条件		室内（調整目標値）						一 般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏 季		℃	%	28.0	℃	%	℃	%	冬 季		℃	%	19.0	℃	%	℃	%	<p>6 衛生器具設備</p> <p>1 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>6 器具と排水管接続</p> <p>7 給水設備</p> <p>8 排水設備</p> <p>9 給湯設備</p> <p>10 消火設備</p> <p>11 ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <p>● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>※ 個別感知方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式</p> <p>電源供給方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式（ ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ）</p> <p>● 手動式</p> <p>洗浄水加熱方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図（施工64） ● 標準図（施工65）</p> <p>1 量水器</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買収（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）</p> <p>● 子メーター ※ 買収 ● 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● H1VP ● 架橋ポリエチレン管 ● SGP-VA（井水）</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● 水道用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>● 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>◎ 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用）</p> <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ◎ VP（水道用） ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU（地中） ● REP-VU（地中）</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>4 煙試験</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>1 配管材料</p> <p>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</p> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>2 弁類</p> <p>1 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・VIIによる）</p> <p>● 屋内消火栓用（※ 施工しない ● 施工する） ● スプリンクラー用（※ 施工しない ● 施工する）</p> <p>● 連結送水用（※ 施工しない ● 施工する） ● 連結放水用（※ 施工しない ● 施工する）</p> <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ● 1号 ● 2号 ）</p> <p>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p> <p>2 都市ガス設備</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>2 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買収（取付け ※ 別途 ● 本工事）</p> <p>● 子メーター ※ 買収 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途）</p> <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買収</p> <p>● 標準図（施工73）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c）</p> <p>● 標準図（施工74）の ● 要領（a） ● 要領（b）</p> <p>● 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）</p> <p>1 処理種別及び方式</p> <p>● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式）</p> <p>● その他性能評価を受けた方式（ ）</p> <p>● 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）</p> <p>2 型式</p> <p>● ユニット型 ● 現場施工型</p> <p>3 処理能力</p> <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m³/d</p> <p>4 放流水の水质</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 200mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <p>5 排水方式</p> <p>● 砂 ● 根切土の中の良質土</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>● 不要 ● 要（図示による）</p> <p>7 土留め工事</p> <p>● 不要 ● 要（図示による）</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ポルト式）</p> <p>9 消毒薬</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																													
設計用標準水平震度	◎ 特定の施設		● 一般の施設																																																																																																																																																													
	● 重要機器	◎ 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																																																																																																																												
上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																											
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																																																											
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																											
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																											
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																											
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																											
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																																																											
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																											
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																											
	外気条件		室内（調整目標値）																																																																																																																																																													
			一 般		（ ）																																																																																																																																																											
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																																										
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																										
夏 季		℃	%	28.0	℃	%	℃	%																																																																																																																																																								
冬 季		℃	%	19.0	℃	%	℃	%																																																																																																																																																								
	外気条件		室内（調整目標値）																																																																																																																																																													
			一 般		（ ）																																																																																																																																																											
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																																										
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																										
夏 季		℃	%	28.0	℃	%	℃	%																																																																																																																																																								
冬 季		℃	%	19.0	℃	%	℃	%																																																																																																																																																								
<p>工事名</p> <p>総合療育センター加圧給水ポンプ更新工事</p>	<p>図名</p> <p>機械設備工事特記仕様書（2）</p>	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	<p>株式会社 ティビーエム（ティビーエム環境設備設計事務所）</p> <p>鳥取県米子市目久美町3番地2</p> <p>鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所</p> <p>管理建築士 一級建築士 第344020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優</p>	<p>年月 2024.01</p> <p>頁 03</p> <p>図番 M-03</p> <p>08 全</p>																																																																																																																																																							

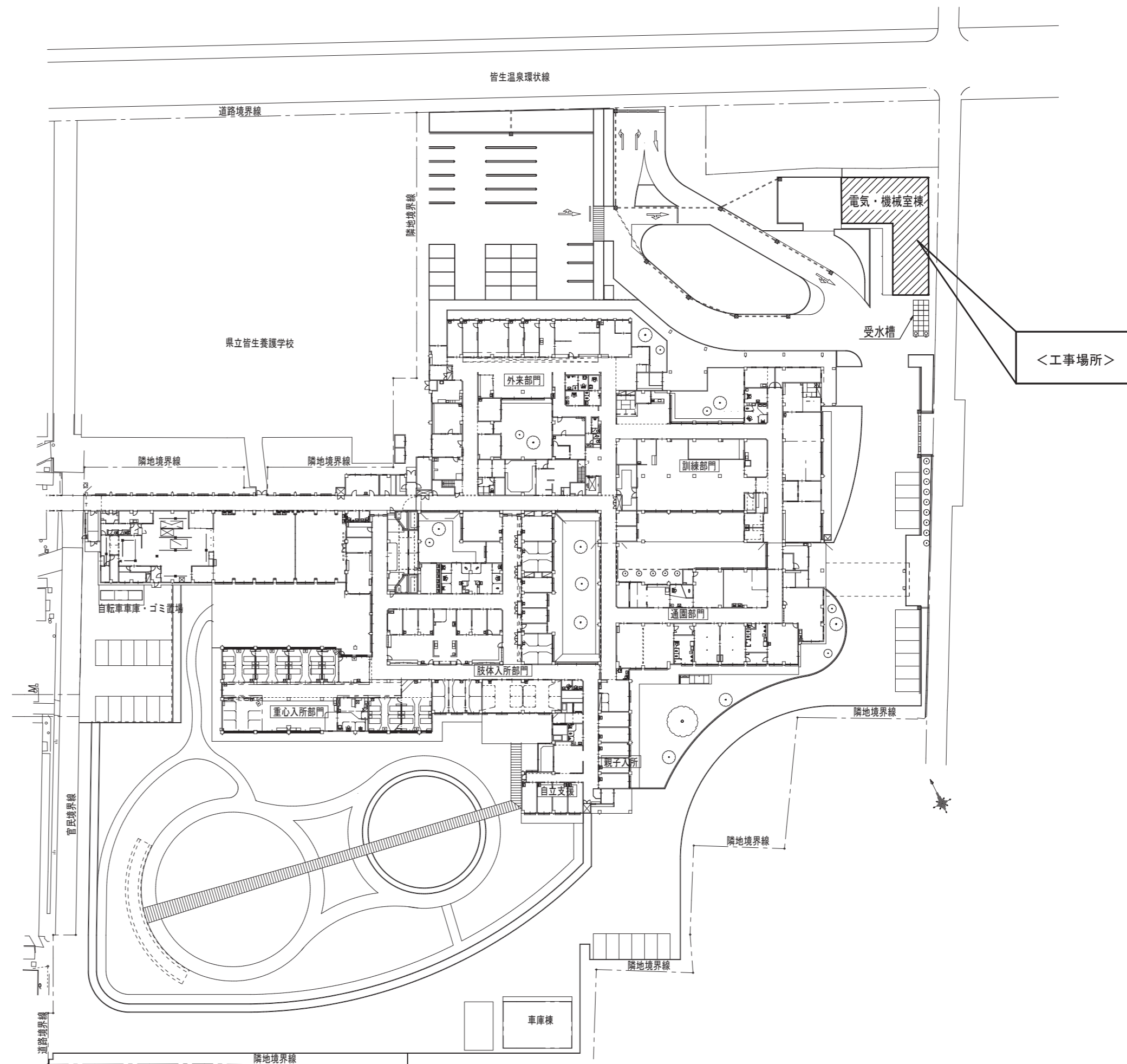


【工事概要】

総合療育センターにおける以下の改修工事を行う。
 ・ 老朽化した加圧給水ポンプユニットの更新 一式



付近見取図



配置図 S = 1 / 800

鳥取県
 令和5年度
 J2300517
 西部環境建築局

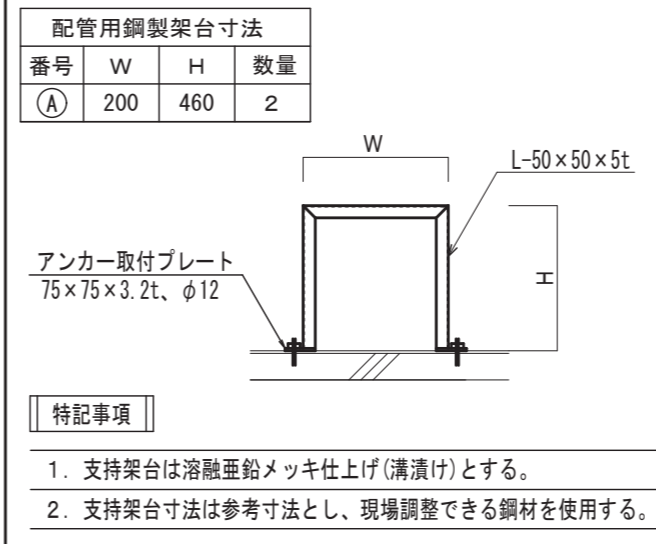
工事名 総合療育センター加圧給水ポンプ更新工事	図名 配置図、付近見取図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2024.01	頁	04
		1/800	赤井	神原	神原	細木	図番		M-04	08	全	

衛生機器リスト

記号	名称	仕様	電気容量			数量	備考		
			φ	V	出力				
PW-1	給水加圧ポンプユニット	形式	推定末端圧力一定給水ユニット、インバータ方式、自動交互並列運転方式	3	200	7.5KW×2	1	発電機回路	
		能力	65φ×80φ×810L/min×53m						
		付属品	制御盤（インバータ、漏電遮断器、ACリアクトル、ノイズフィルタ、凍結防止、雷サージ対策等）、2槽式受水槽無電圧接点外部出力端子（ポンプ運転・故障、受水槽満減水警報）、圧力計、連成計、凍結防止ヒーター、他付属品共						

※制御盤面の切替（通常-非常）SWを「非常」に切替をした時、1台が定圧運転を行える仕様とする。

配管用支持架台参考図



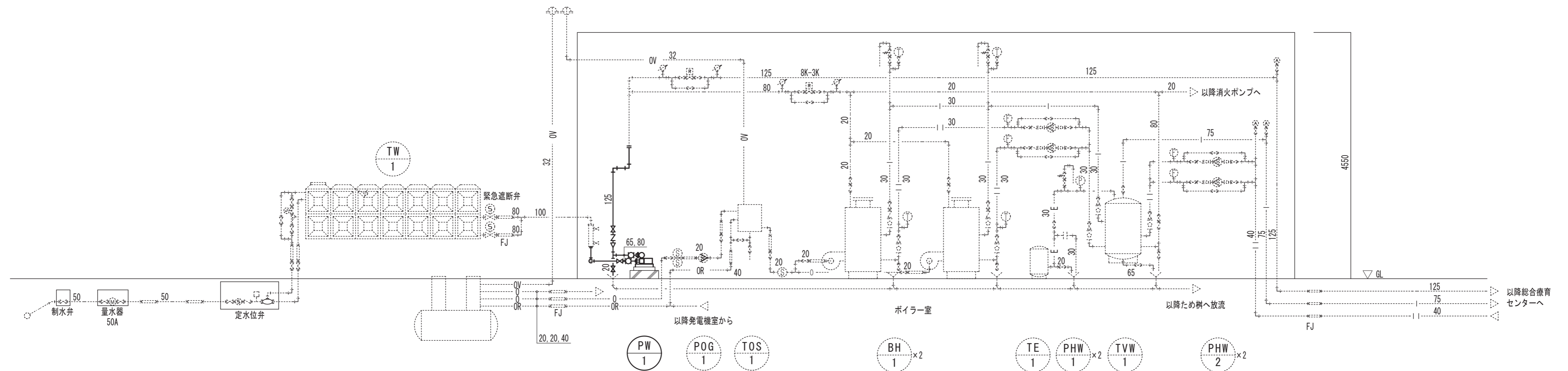
衛生設備凡例

記号	名称	施工場所	摘要
—	給水管	機械室内	フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-FVB (WSP 011)
—	排水管	機械室内	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K 6741)
⊗	仕切弁		形状・大きさは図示による。
⋯	既設配管・機器		既設再使用
— —	既設配管接続箇所		

※給水管は加工管（LP管）を使用可とする。

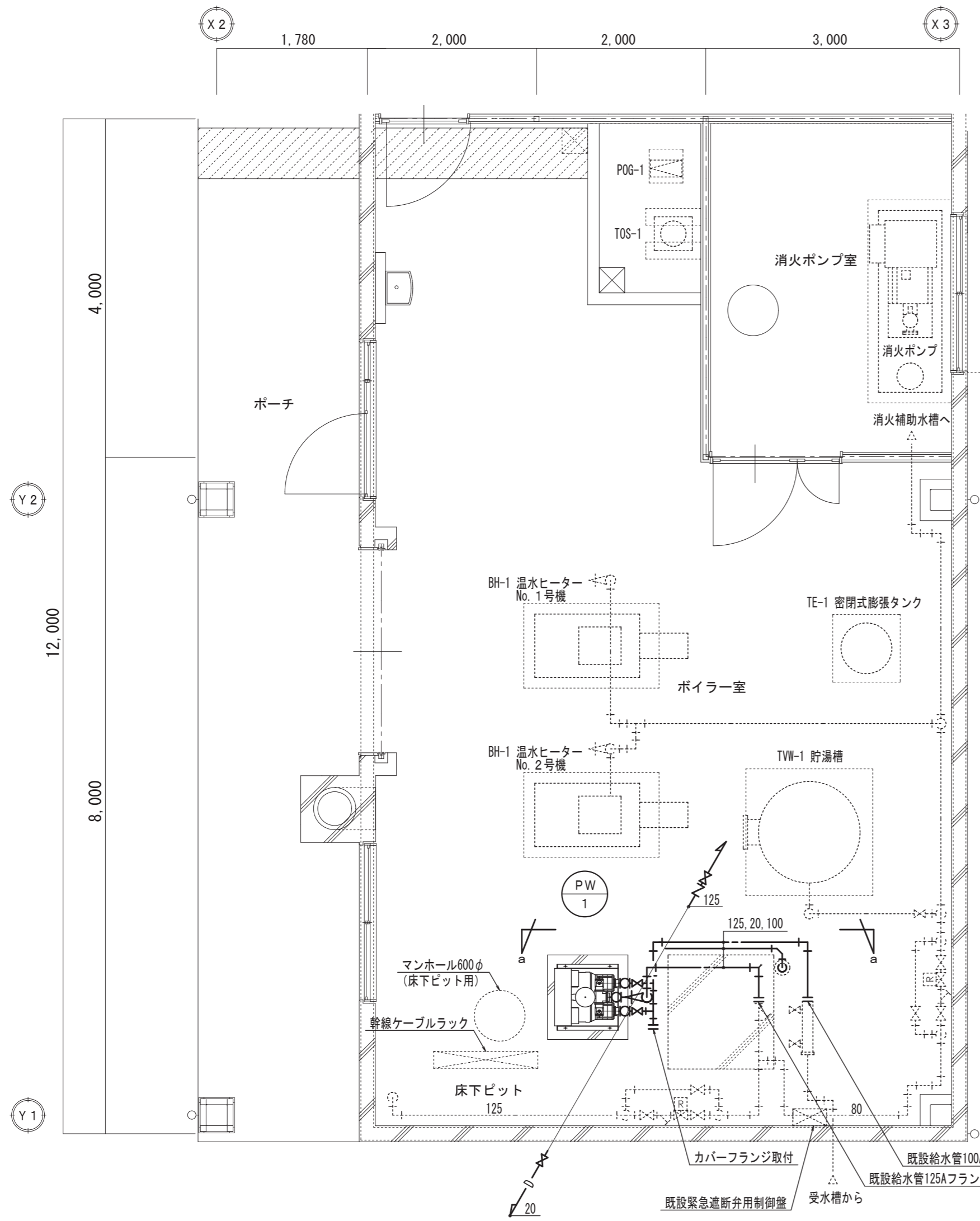
施工上の留意事項

- ※機器・配管を新設、切替後に既設機器等を撤去する。
- ※配管切替は、休日の給水使用量の少ない時間帯などに半日程度断水をして作業を行う想定としている。施設管理者と打合せの上、施工を行うこと。
- ※電源・制御線の接続替えも同時施工とし、断水時間を出来るだけ短縮できるよう考慮の上施工すること。

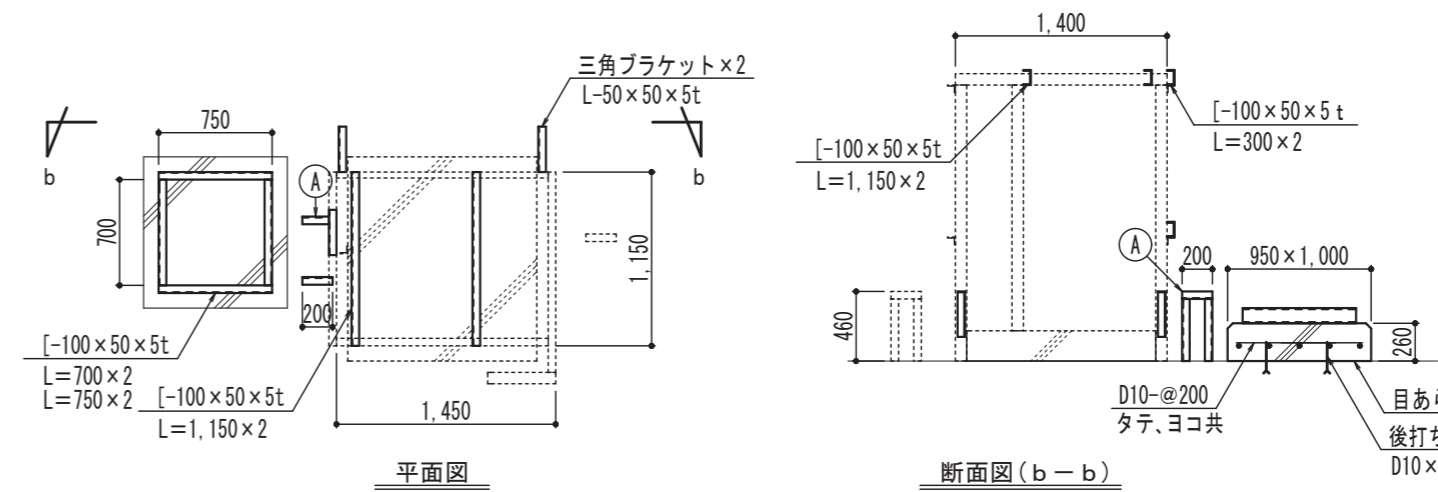


給水設備 改修後 系統図 S=Non

鳥取県
令和5年度
J2300517
西部環境建築局



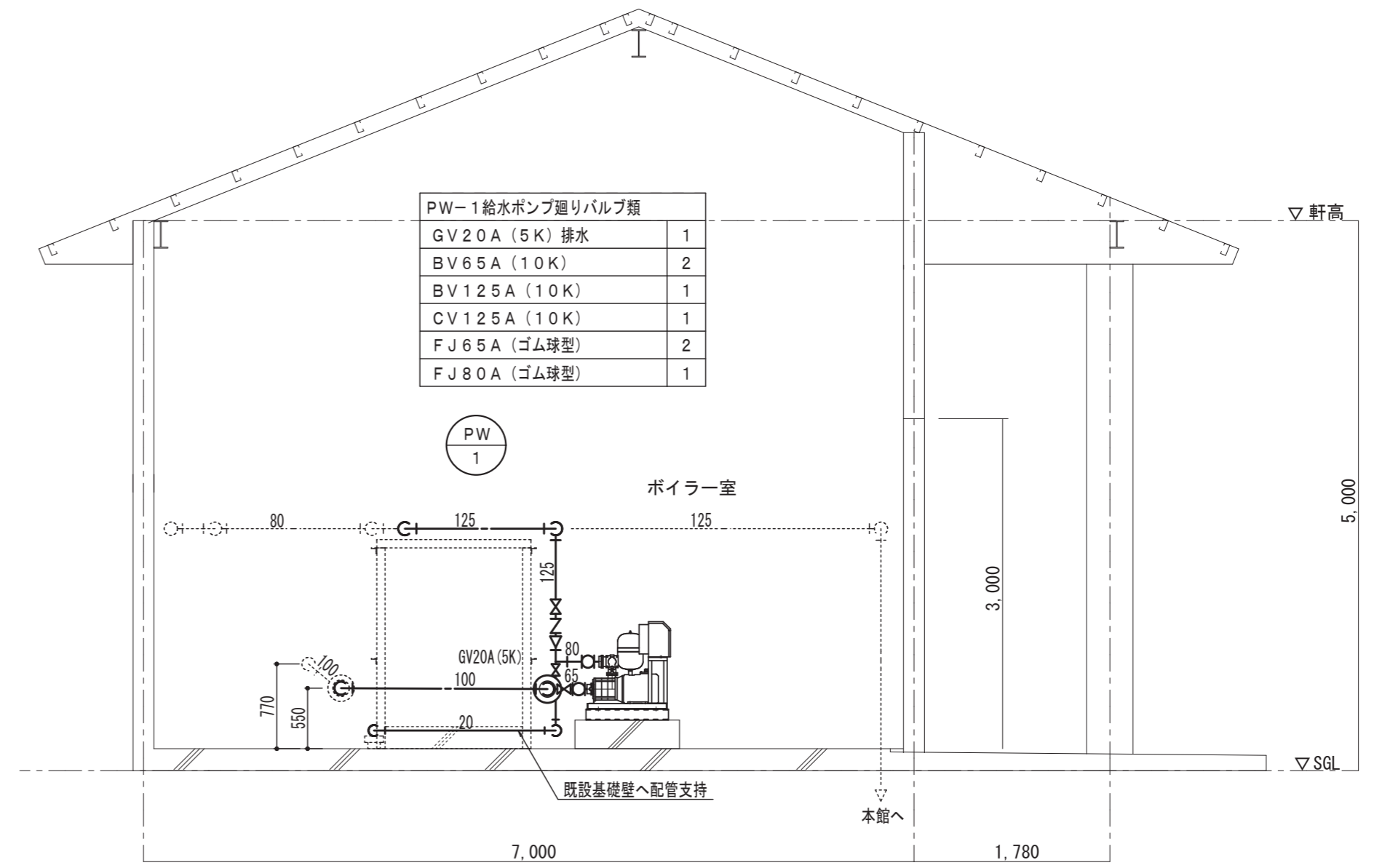
給水設備 改修後 平面詳細図 S=1/50



ポンプ廻り基礎・鋼製架台図 S=1/50

※基礎寸法・鋼材寸法・固定位置等は、採用機器に合わせて施工すること。
 ※基礎に水溜まりが出来ないように水平にする。
 ※基礎コンクリート：F_c=18N/mm²
 ※機器基礎：JIS1類使用

※既設床面との打継ぎ面には目あらしをした上で吸水防止剤にて十分な吸水防止処置を行った後、コンクリート打設を行う。
 ※既設架台に取付の鋼製架台は、穴開け加工してボルトを取付け、既設鋼材と同色の塗装を行う。
 ※新設配管を架台に取付けの際には、置き配管用ウレタンUボルト付き支持材固定施工とする。
 ※新設ポンプユニット設置に際しては、既設配管と新設配管の高さ調整は、新設鋼製架台にてレベル調整を行う。



給水設備 改修後 断面詳細図 (a-a) S=1/50



特記事項

1. 部分是新設を示す。
2. 機器固定用アンカーの仕様は採用メーカーにより耐震計算を行って決定すること。

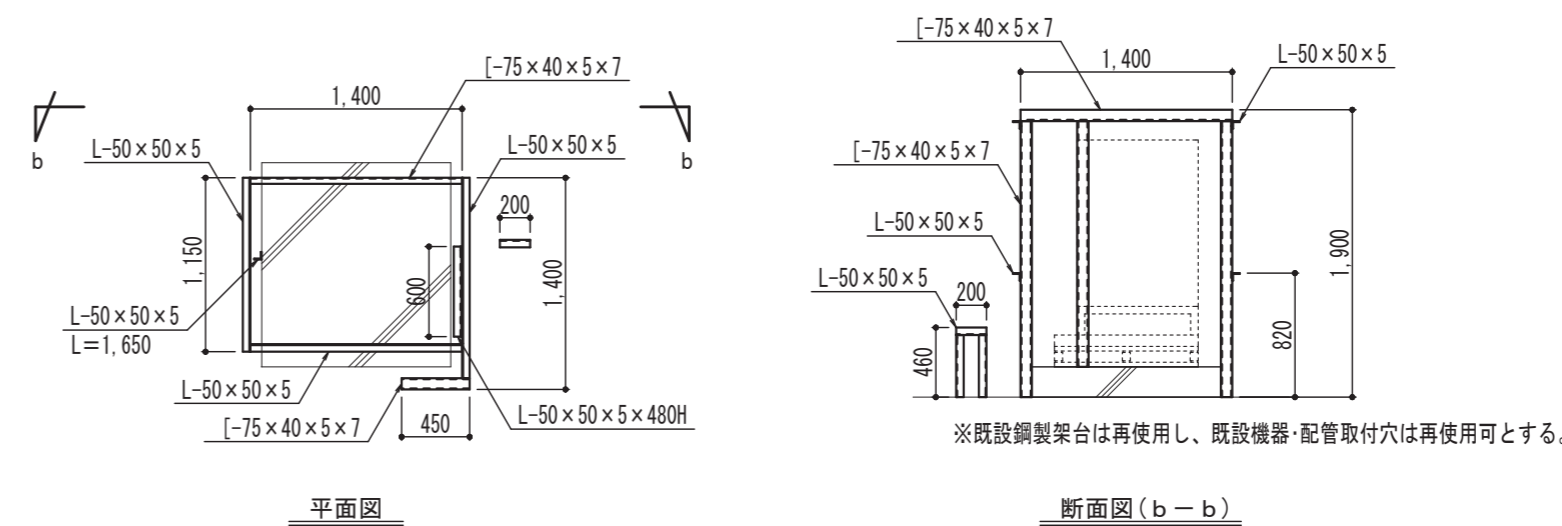
衛生機器リスト (撤去)

記号	名称	仕様	電気容量		数量	備考
			φ	V		
PW-1	給水加圧ポンプユニット	形式	3	200	1	テラルキョウトウ SX-80VFP653-67.5W 発電機回路
		能力	推定末端圧力一定給水ユニット、インバータ方式、自動交互並列運転方式			
		付属品	65φ×80φ×810L/min×53m			
		制御盤(2槽式受水槽満減水警報、受水槽電磁弁制御端子、漏電遮断器、高調波対策、避雷器仕様、凍結防止制御回路組込等)、圧力計、圧力タンク20L、凍結防止ヒーター、防振架台、他付属品組込ユニット型				

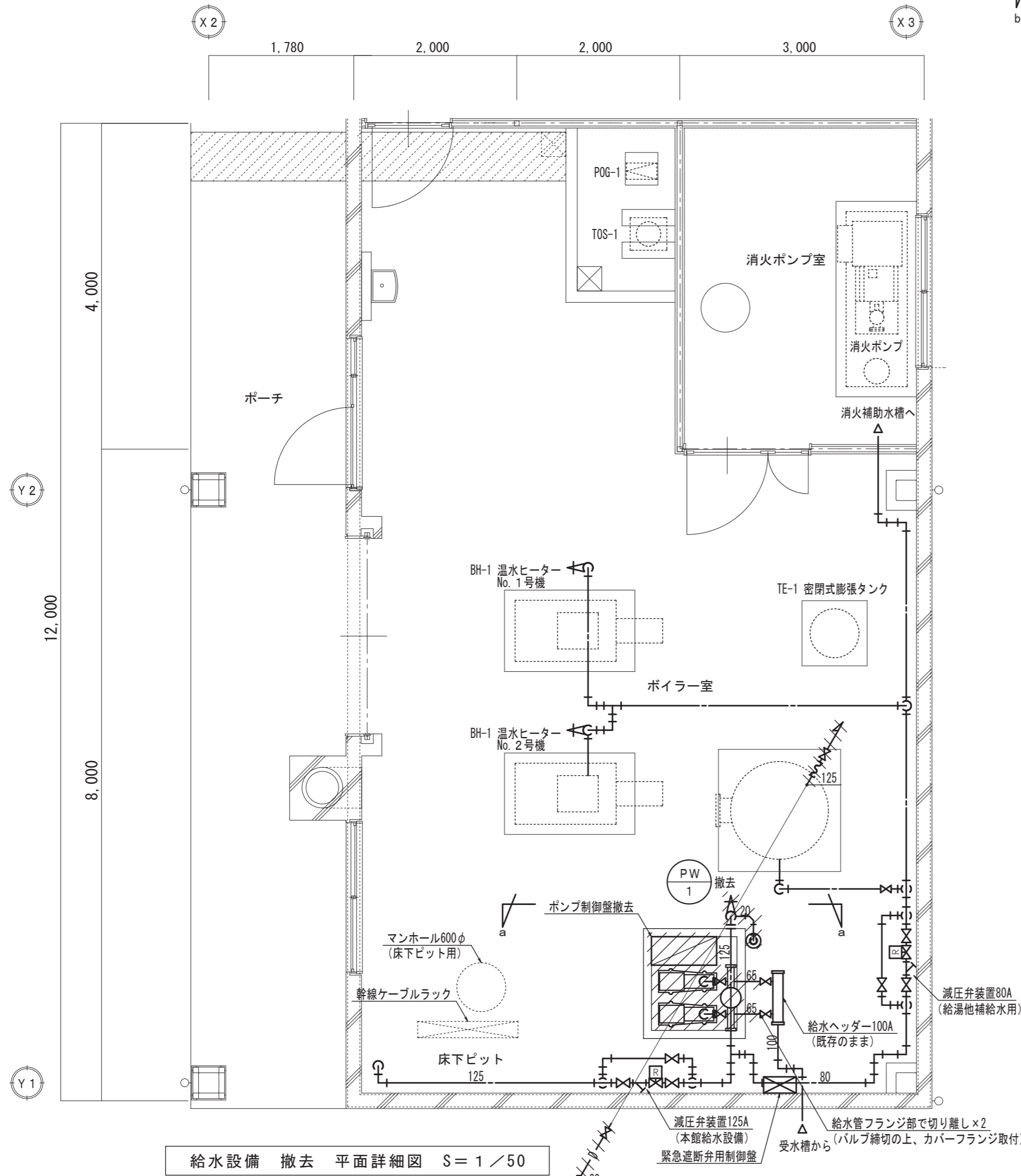
※制御盤面の切替(通常-非常)SWを「非常」に切替をした時、1台が定圧運転を行える仕様とする。

衛生設備凡例

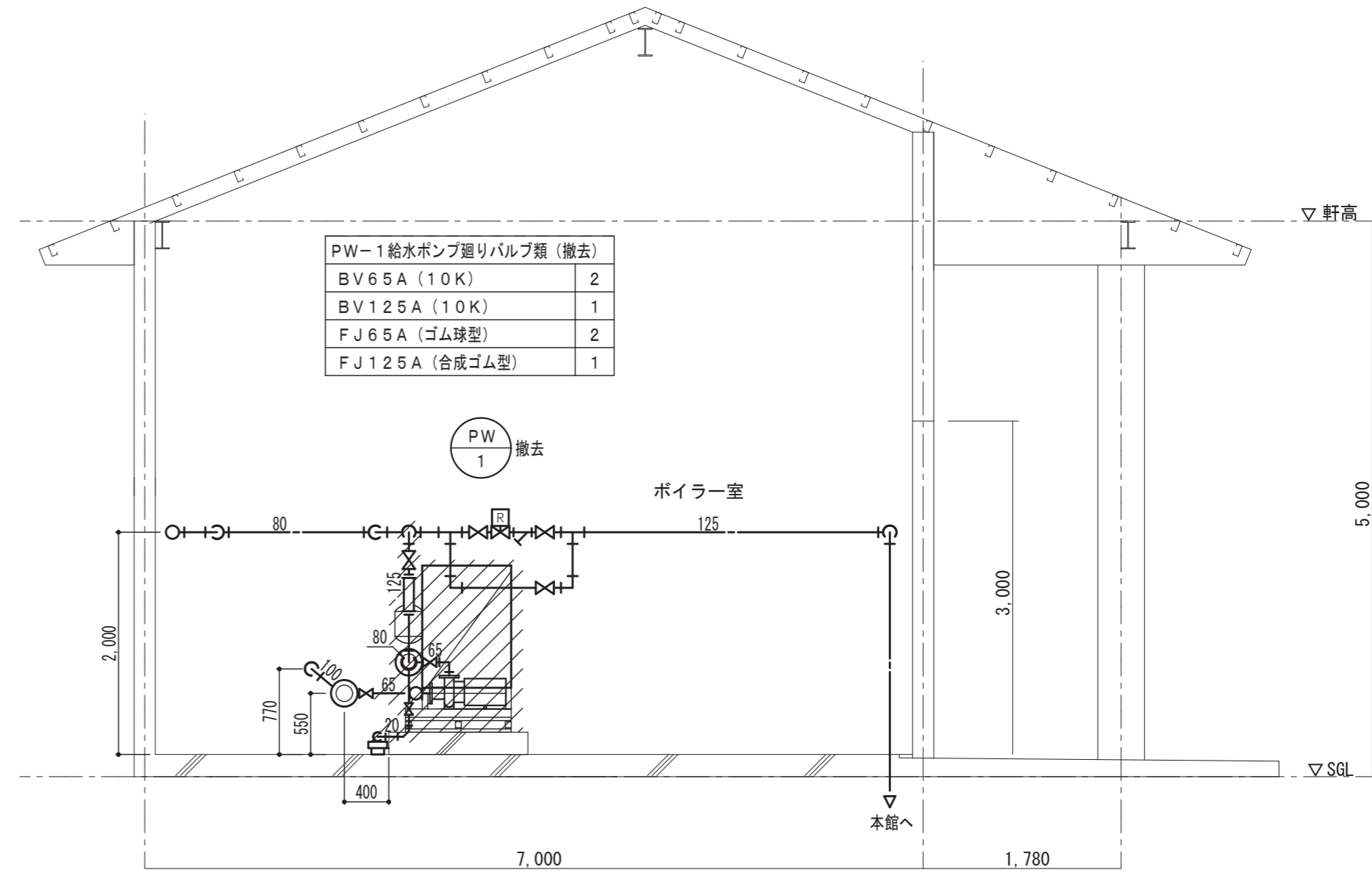
記号	名称	施工場所	摘要
———	既設給水管	機械室内	フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-FVB (WSP 011)
———	既設排水管	機械室内	配管用炭素鋼鋼管 SGP-白 (JIS K 6762)
.....	既設機器		既設再使用
	既設配管切り離し		



ポンプ廻り鋼製架台図 S=1/50



給水設備撤去平面詳細図 S=1/50

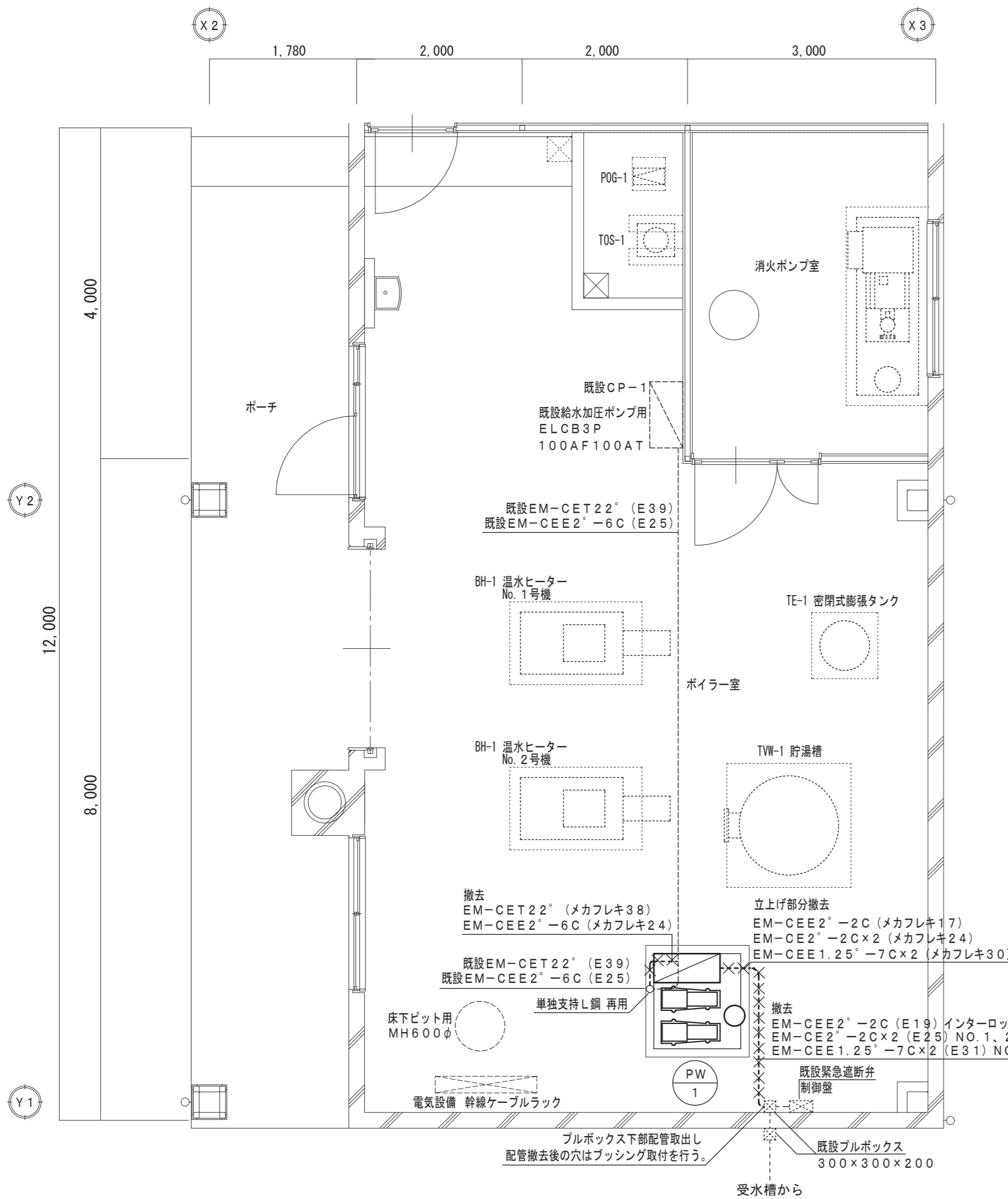


給水設備撤去断面詳細図(a-a) S=1/50

特記事項

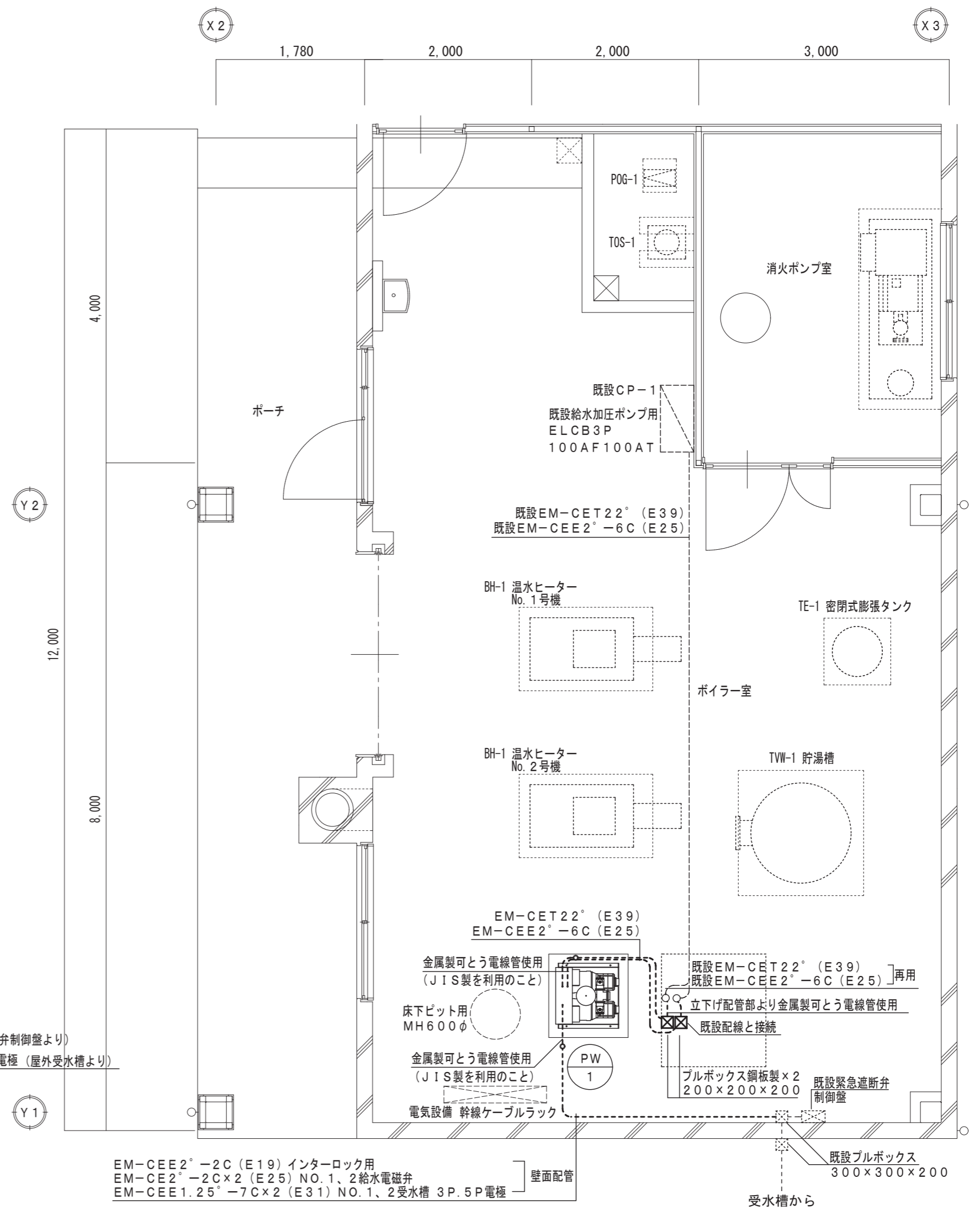
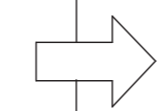
1. 斜線部分(斜線)は撤去を示す。
2. 既設ポンプ及び配管類は新設ポンプ・配管・電源及び制御盤更新・切替後に撤去を行うこと。
3. 既設配管配入寸法は参考寸法とし、施工にあたっては採寸調査の上、施工を行うこと。
4. 施工前に撤去対象の配管保温材及びフランジパッキンのアスベスト含有を分析調査(2検体)すること。アスベスト含有の場合処分費については監督員と別途協議する。(設計ではアスベスト撤去・処分費は見込んでいない)





動力 計装設備 撤去 平面詳細図 S=1/50

※配線切替は、給水管切替と同時に休日の給水使用量の少ない時間帯に半日程度断水をして作業を行う想定としている。
断水時間が出来るだけ短縮出来る様考慮した施工とすること。



動力 計装設備 改修後 平面詳細図 S=1/50

施工上の留意事項

※新設給水ポンプの動力・制御・警報ケーブル配管配線は、既設及び新設プルボックスまでを給水切替前に事前に施工すること。
※プルボックス内での既設ケーブルとの接続は、給水管切替時と同時施工とし、接続後機器の試運転調整確認を行うこと。
※配線、配管、ブレーカーサイズはポンプの採用メーカーに適合したものとし、変更が生じた場合の費用は施工者負担とする。

※新設プルボックスは既設ポンプ架台L鋼架台 (FL+800) とL鋼支柱に支持し、架台と同色塗装とする。



工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 俊	年月	2024.01	頁	08
総合療育センター加圧給水ポンプ更新工事	動力 計装設備 撤去 改修後 平面詳細図	1/50	赤井	神原	神原	内藤			図番	M-08	全	08